

- 問1 14世紀から16世紀にかけて、現在の沖縄県を拠点とした勢力が、中国の王朝である明との間で朝貢貿易を行いました。この勢力は、日本、朝鮮、東南アジアと中国を結ぶ中心点として、各地の産品を運び届ける役割を担い繁栄しましたが、この王国の名称として正しいものを選択してください。 (2016年 秋田県公立入試 類似)
1. 蝦夷地 2. 対馬 3. 琉球王国 4. 薩摩藩
- 問2 中世の備前（現在の岡山県）の様子を描いた絵画資料には、備前焼の大きな瓶や布が売買され、人々が紐で通した銭の束を手にして取引する様子が記されています。このような定期市が各地で発達した背景として最も適切な説明を選んでください。 (2022年 神奈川県公立入試 類似)
1. 荘園領主が年貢をすべて市場で換金してから納めるよう、農民に義務付けたため。 2. 外国との貿易を独占していた問丸が、地方の農村にも直接出店するようになったため。 3. 幕府がキリスト教の布教を阻止するために、寺社の門前に限定して取引を認めたため。 4. 農業生産力の向上によって余剰産品が生まれ、貨幣を用いた売買が発達したため。
- 問3 1467年に京都付近で発生した応仁の乱によって、幕府の権威が揺らぎ社会が大きく動揺した時期に、足利義政が東山山荘を造営するなどして栄えた文化があります。この文化の説明として、最も適切なものはどれですか。 (2015年 長崎県公立入試 類似)
1. 雪舟が墨の濃淡で自然を描く水墨画を大成させ、簡素で気品のある気風が好まれた。 2. 紀貫之が編纂に関わった『古今和歌集』に代表されるような、優雅な国風文化が広まった。 3. 鑑真が唐の進んだ文化を伝え、国際色豊かな仏教文化が花開いた。 4. 近松門左衛門が脚本を書き、庶民の間で人形浄瑠璃や歌舞伎が人気を博した。
- 問4 足利尊氏が征夷大將軍となり幕府を開いた14世紀ごろ、日本の周辺海域で活動が活発化した集団について述べた文として、正しいものはどれですか。 (2019年 沖縄県公立入試 類似)
1. 朝鮮半島や中国沿岸で海賊活動や密貿易を行った倭寇が活動した。 2. 勘合貿易を独占し、幕府の許可を得て朱印船を派遣した。 3. 天下の台所と呼ばれた大阪を拠点に、全国の物資を管理した。 4. 元軍が日本に侵攻した際、対馬や壹岐で抵抗した防人が組織された。
- 問5 豊臣秀吉の没落後に政権を握った江戸幕府は、室町時代から続いていた海外との自由な交流を制限し、幕府による統制を強めていきました。幕府がキリスト教の禁止や禁教の徹底を主な目的として、約200年にわたって続けた対外政策は何ですか。 (2016年 京都府公立入試 類似)
1. 下関条約の締結 2. 鎖国 3. 大政奉還 4. 日明貿易の再開
- 問6 室町時代に活躍した運送業者の「馬借」について、彼らが歴史上の出来事において果たした役割や背景を説明したものとして、最も適切なものはどれかを選びなさい。 (2022年 茨城県公立入試 類似)
1. 海外から輸入された馬の飼育や管理を専門に行い、軍事力の強化に貢献した。 2. 各地の港で商品の保管や中継を専門に行い、のちに卸売商へと発展した。 3. 幕府から特権を認められた金融業者として、高利貸しを行い幕府の財政を支えた。 4. 交通の要所に集まり、借金の帳消しを求めて土倉などを襲う土一揆の中心勢力となった。
- 問7 室町時代、細川勝元によって創建された龍安寺には、水を用いずに石や砂で山水を表現する枯山水の石庭がある。このような文化を生み出し、鎌倉時代に宋西が日本に伝えた禅宗の一派はどれか。 (2024年 青森県公立入試 類似)
1. 浄土宗 2. 臨済宗 3. 時宗 4. 日蓮宗
- 問8 15世紀から16世紀の東アジアにおける琉球王国の物流の様子について説明した文として、最も適切なものはどれですか。 (2019年 広島県公立入試 類似)
1. 日本から輸入した銅や刀剣を明や東南アジアへ輸出し、東南アジアから輸入した香辛料を明や日本へ輸出する仲介役を担った。 2. 東南アジア諸国から輸入した鉄砲やキリスト教を背景に、日本に対して武力による領土拡大を試みた。 3. 明から輸入した生糸や陶磁器を自国内だけで消費し、日本に対しては琉球独自の特産品である銀や米を大量に輸出した。 4. 明への朝貢を一切行わず、日本やポルトガルの商人から直接輸入した産物を東南アジアへ輸出する独自の独占ルートを築いた。
- 問9 室町幕府が衰退した後の十六世紀末から十七世紀にかけて、金箔を多用した「風神雷神図屏風」に代表されるような豪華な文化が育まれました。この作品の作者とされる俵屋宗達が活躍した時期の、歴史上の出来事として適切なものはどれですか。 (2016年 京都府公立入試 類似)
1. 足利尊氏による建武の新政への反旗 2. 源頼朝による守護・地頭の設置 3. 織田信長による安土城の築造 4. 平清盛による日宋貿易の推進
- 問10 京都の町衆は、自分たちの手で都市を運営するだけでなく、戦乱によって途絶えていた文化行事の再興にも力を尽くしました。応仁の乱の影響で約30年にわたり中断されていましたが、町衆の経済力と情熱によって1500年に再興された、京都を代表する祭礼の名称を答えてください。 (2024年 石川県公立入試 類似)
1. 葵祭 2. 天神祭 3. 祇園祭 4. 時代祭
- 問11 12世紀に発生した、天皇家の継承問題や藤原氏の内部抗争に、平清盛や源義朝ら武士が動員された出来事について、この出来事の名称とその後の歴史的背景として適切な説明はどれですか。 (2022年 茨城県公立入試 類似)
1. 保元の乱であり、武士の実力が中央の政治闘争に不可欠であることが認識される契機となった。 2. 大化の改新であり、唐の制度に倣った律令国家の建設が進められることとなった。 3. 保元の乱であり、この直後に後醍醐天皇が隠岐から戻り、鎌倉幕府を滅亡させた。 4. 建武の新政であり、武士の不満を解消するために公家を重視した新しい政治が展開された。
- 問12 室町時代の文化に関する人物と、その人物が深く関わった事柄の組み合わせとして正しいものはどれですか。 (2016年 鹿児島県公立入試 類似)
1. 観阿弥・世阿弥 — 足利義満の保護を受け、能を大成した。 2. 千利休 — 北山文化の代表として、銀閣を建立した。 3. 雪舟 — 貴族の好みに合わせ、新古今和歌集を編纂した。 4. 足利義政 — 猿楽や田楽を基に、阿国歌舞伎を創始した。
- 問13 日明貿易において、正式な貿易船であることを証明し、当時沿岸部で活動していた海賊（倭寇）と区別するために用いられたものはどれか。 (2018年 岐阜県公立入試 類似)
1. 引換券 2. 朱印状 3. 勘合 4. 割符
- 問14 室町時代に足利義満が始めた明との貿易では、「勘合」と呼ばれる札が使用されました。この「勘合」を用いた主な目的として、最も適切な説明はどれかを選びなさい。 (2016年 岐阜県公立入試 類似)
1. 正式な貿易船と、当時沿岸部で活動していた倭寇などの海賊船を区別するため 2. オランダ船の来航を特定の港に制限し、貿易を幕府の管理下に置くため 3. ポルトガル船との交易を奨励し、南蛮文化を積極的に取り入れるため 4. キリスト教の宣教師が貿易船に紛れて入国するのを防ぐため